

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 5 区分
 【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2005-504186 (P2005-504186A)
 【公表日】平成 17 年 2 月 10 日 (2005.2.10)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-006
 【出願番号】特願 2003-530933 (P2003-530933)
 【国際特許分類】

D 0 6 P 3/24 (2006.01)

【F I】

D 0 6 P 3/24 A

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 8 月 18 日 (2005.8.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

フィブリルを有する未染色および未着色のパラ系アラミド系セグメントを有する糸から製造された織物を含んでなる衣料物品の外観を復元する方法であって、

(a) 前記衣料物品を水性染料溶液または分散液と接触させるステップであって、前記染料溶液または分散液は前記パラ系アラミドフィブリルを染色するステップと、

(b) ステップ (a) の前記物品を乾燥させるステップとを含んでなる方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 3】

【表 4】

	CPPT (1 インチ裁断するための g 数)	摩耗 (サイクル)
未処理手袋	1.4	570
処理済み手袋	1.4	680

本発明の好適な実施の態様は次のとおりである。

1. フィブリルを有する未染色および未着色のパラ系アラミド系セグメントを有する糸から製造された織物を含んでなる衣料物品の外観を復元する方法であって、

(a) 前記衣料物品を水性染料溶液または分散液と接触させるステップであって、前記染料溶液または分散液は前記パラ系アラミドフィブリルを染色するステップと、

(b) ステップ (a) の前記物品を乾燥させるステップと

を含んでなる方法。

2．前記アラミドが、前記衣料物品中に少なくとも5重量%の含有率のパラ系アラミドを含んでなる上記1に記載の方法。

3．前記パラ系アラミドがポリ（パラフェニレンテレフタルアミド）である上記2に記載の方法。

4．前記水性染料溶液または分散液に染色助剤が使用されない上記1に記載の方法。

5．水性染料溶液が使用される上記1に記載の方法。

6．初期染料濃度が、前記衣料物品を基準にして少なくとも0.01重量%である上記1に記載の方法。

7．前記初期染料濃度が0.02～0.1%の範囲である上記6に記載の方法。

8．前記染料がカチオン染料である上記1に記載の方法。

9．前記衣料物品が防護衣類である上記1に記載の方法。

10．前記衣料物品が裁断抵抗性である上記9に記載の方法。

11．前記衣料物品が手袋である上記1に記載の方法。

12．前記衣料物品がエプロンである上記1に記載の方法。

13．前記衣料物品がスリーブである上記1に記載の方法。

14．前記衣料物品が消防用外衣である上記1に記載の方法。

15．ステップ（a）が複数の染色ステップを使用する上記1に記載の方法。